

2009年11月27日

東京外国為替市場委員会 第128回会合 議事録

開催日時 2009年11月24日 13:00～14:00  
場 所 日本銀行本店 新館9階中会議室  
議 長 星野 昭  
副 議 長 中野 北斗  
副 議 長 梨本 忠彦  
書 記 宮田 慶一  
出席委員 22名

I. 任期満了・再任および新委員の選任

小林委員より、今回の委員会をもって退任したいとの意思が示され、了承されました。

星野議長より、小林委員の後任として、以下の方から委員への立候補届けがあったとの報告があり、立候補者による所信表明を経て委員による投票が行われ、下記候補者は全会一致で新委員に選任されました。

今西 晋嗣（住友信託銀行）

また、星野議長より、熱田委員の委員としての任期（2年）が満了することが報告されました。熱田委員から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

II. 小委員会報告

1. 運営小委員会

松尾小委員長より、余剰在庫を抱えている「1998 FX and Currency Option Definitions 解説書」につき、電子版を本委員会ウェブサイト上に掲載し在庫確保の必要がなくなったことから、一部を残し廃棄する旨報告がありました。

2. BCP小委員会

星野小委員長より、来年2月8日週を目途に実施する短期・証券市場との3市場合同BCP訓練につき、引き続き訓練シナリオの詳細を詰めている旨報告がありました。なお、訓練シナリオの詳細については、当初、本委員会で説明するとしていましたが、12月は本委員会が休会となるため、電子メールにて説明する扱いとなりました。

### III. その他

中野副議長より、金融機関の為替リスク管理について、売り買いの持ち高を相殺したネットポジションによる管理が一般的と認識しているが、売り買いの持ち高を合算したグロスポジションや、取引高総額による管理を行っている先があれば教えて欲しいとの要望がありました。いずれの委員からも、為替リスク管理はネットポジションで管理しており、グロスポジションや取引高総額を用いた管理は行っていないとのことでした。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (11月24日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○宮田 慶一	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソース・ジャパン)
教育小委員長	前波 弘	(野村証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
	○小林 正史	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○小池 正道	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	○熱田 龍一	(バンク・オブ・アメリカ)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフォックス上田ハーロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	広田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○内山 一慶	(みずほコーポレート銀行)
	○天城 穰	(三菱東京 UFJ 銀行)
	○渡邊 明彦	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○藤井 大輔	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。